

『若人逍遙』は とってもイイ歌 大好きです。

小樽市緑1 30 10
通称「内山下宿」

内山愛子さん



時は6月11日（水）、午前10時半。通称「内山下宿」のご主人；内山愛子氏は快く取材に応じて下さった。愛子氏曰く「ウチよりも早く下宿業を始めた方が居るので、正直言って取材には気が進まないんですよ…。」[取材者は、これを“謙譲の美德”とみた。]



その後、1時間有余、（あと数年で）40年に達しようとする「商大生の育ての親；内山愛子さん」の、けっして飾らず、それでいて実に心温まる商大生への熱い思いを語っていただいた。[以下は、取材者（筆者）が、氏の話しを出来る限り忠実に記述しようと努めた、いわば涙ぐましい成果（？）である。]誌面の関係上、（当初、考えていた）一問一答記述方式を止め、（愛子氏の）語録要旨のみを記述する方式とした。

★「親子二代（母・娘）の下宿屋で、間もなく40年…。最初の頃の卒業生は、もう孫の誕生を知らせてきました。長いことやっているのと、いつ頃の学生だったか…あまりにも大勢なので…もうゴッチャになってしまっ…。」

★「確かに商大生は変わりましたネェ。私はバンカラ（特に応援団）が好きで好きで…。昔、飲み屋さんでエールをきってもらった時には、本当に感激してしまっ…。『若人逍遙』はとってもイイ歌だと思います。」

★「何年かかかってやっと卒業した子を、時には殴ったり、授業料を立て替えてやったことも…。何とか卒業させてやりたい、卒業させなきゃ…の一念でした。」

★「アルバイトに熱中するのは良くないです。ガリ勉も良くない…勉強なんかトップでなくていい。ちゃんと卒業することです！」

★「（6～7年前あたりから）下宿人同士の会話が無くなりましたネェ…昔は何時になっても居間で御茶を飲みながら色々話し合ったものです。それに上級生は、下級生の面倒もみなくなりました。昔の方が怒ったり、笑ったり…本当に面白かった。」

★「ウチでは麻雀禁止。門限はありません。女人禁制は（以前に）解禁しました。」

★「学生時代は二度と無い…今日が（二度と）無いので…何か有った時には、近所の方々に“どうか大目に見てやって下さい”と陳謝に回ったりもします。」

★「学生は食べ物が一番大事！健康管理のキメ手なんです。」

※年中、留守は出来ず、献立は大事。朝食中に夕食の献立を思案。食材は業者に配達依頼。三升炊きの電気釜で炊飯…。一膳一膳私がそれをよそって…。それはもう、毎日が戦争状態…。

◎（終わりに氏から）大学側に対して、特に「新入生への宿舎案内冊子（詳細マップ付）の配布」の徹底を期するよう、強い願出があったことを付記しておく。毎春、家捜しに苦慮する新入生に対する（愛子氏の）温かい心配り…を痛感した。